

行政の窓



平成18年 特用林産統計について



【特用林産物生産額】

道内での平成18年の特用林産物総生産額は、約102億円（対前年比105.9%）となっています。

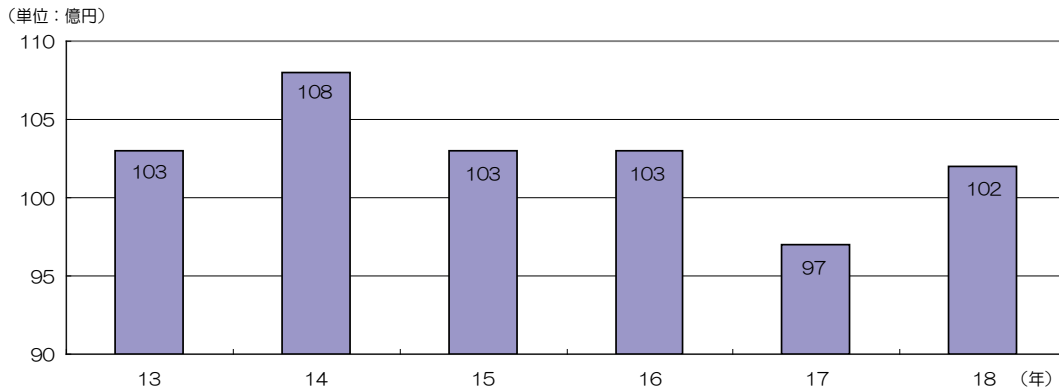


図1 特用林産物生産額の推移

【きのこ類の生産動向】

平成18年の生産額は約93億円（対前年比104.4%）、生産量は16,782t（同97.9%）となっています。

このうち、道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約33億円（対前年比99.1%）、生産量が3,998t（同99.0%）となっており、栽培形態は、原木栽培から菌床栽培への移行が進んでいます。

その他の主なきのこ生産量では、なめこが1,629t（対前年比104.0%）、まいたけが2,204t（同102.0%）と増加したものの、えのきたけやぶなしめじ、エリンギは減少しています。

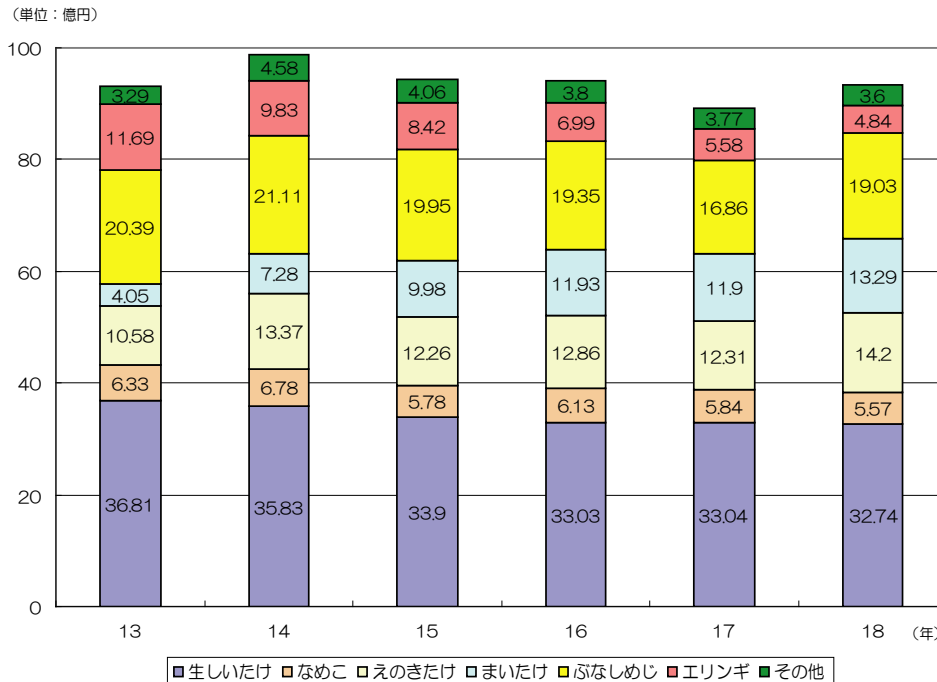


図2 きのこと類の生産額の推移

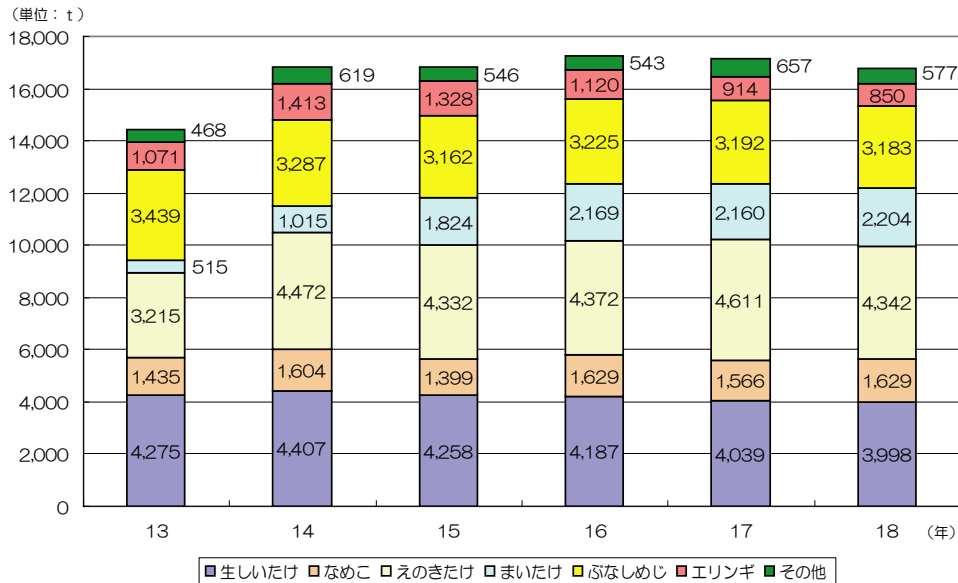


図3 きのこと類の生産量の推移

【木炭の生産動向】

平成18年の生産額は352百万円(対前年比112.4%)、生産量は2,938t(同93.6%)となっています。また、輸入量は年々増加しており、平成18年の輸入量は6,231t(対前年比107.8%)となっています。

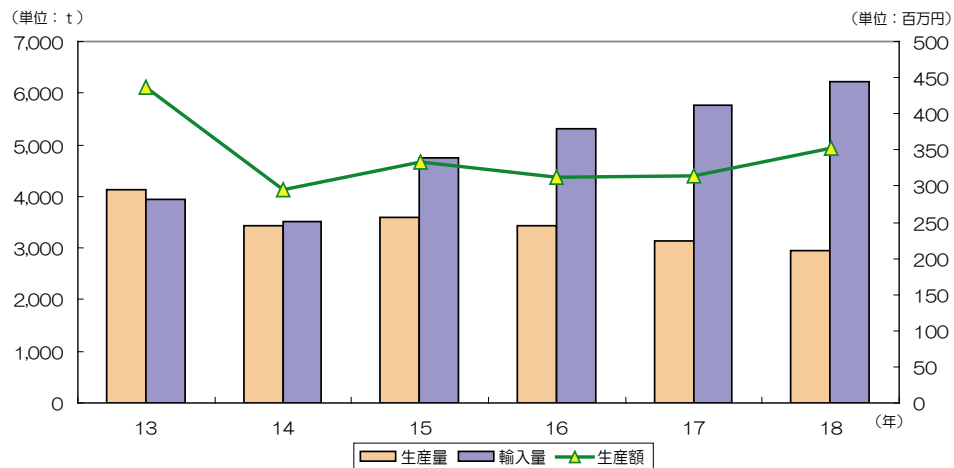


図4 木炭の生産量、輸入量及び生産額の推移

【山菜類の生産動向】

平成18年の生産額は559百万円(対前年比130.9%)、生産量は2,311t(同120.6%)となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっています。

表1 山菜類の生産量及び生産額の推移

| 区分 | | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ふき | 生産量 | 1,871 | 1,804 | 2,010 | 2,461 | 1,756 | 1,802 |
| | 生産額 | 370 | 431 | 400 | 485 | 346 | 308 |
| うど | 生産量 | 185 | 241 | 198 | 152 | 85 | 291 |
| | 生産額 | 74 | 94 | 78 | 56 | 40 | 132 |
| たけのこ | 生産量 | 77 | 18 | 21 | 28 | 37 | 113 |
| | 生産額 | 40 | 9 | 8 | 14 | 20 | 64 |
| わらび | 生産量 | 141 | 114 | 120 | 83 | 34 | 100 |
| | 生産額 | 72 | 61 | 65 | 35 | 19 | 53 |
| その他 | 生産量 | 13 | 11 | 8 | 8 | 4 | 5 |
| | 生産額 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 合計 | 生産量 | 2,286 | 2,188 | 2,356 | 2,732 | 1,916 | 2,311 |
| | 生産額 | 561 | 598 | 555 | 594 | 427 | 559 |

(水産林務部林務局林業木材課林業担い手グループ)